

バンダイこどもアンケートレポート Vol.221

## 「小学生のゴールデンウィークに関する意識調査」結果

- TOPIC①: ゴールデンウィークに子どもが楽しみにしていることの第1位は「**テーマパーク・遊園地**」「**東京ディズニーランド・ディズニーシー**」、「**ユニバーサル・スタジオ・ジャパン**」が人気
- TOPIC②: “理想”のゴールデンウィークは？子どもは「**テーマパーク・遊園地**」、親は「**自宅で過ごす**」「**家族と一緒に過ごしたい**」という、家族の絆を感じさせるコメントが多数
- TOPIC③: 2015年のゴールデンウィークに使う予算の平均金額は、**32,476円**  
昨年と比べて「**変えない予定**」が約8割

総括 : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(本社:東京都台東区、代表取締役社長:上野和典)は、今年のゴールデンウィークを前に、小学生の子どもを持つ親(子どもと一緒に回答できる方)840人を対象に、「小学生のゴールデンウィークに関する意識調査」を実施しました。調査結果を以下の通り発表します。(実査期間 2015年3月6日~9日。2015年4月時点での学年にて回答)

### TOPIC①: ゴールデンウィークに子どもが楽しみにしていることの第1位は「テーマパーク・遊園地」「東京ディズニーランド・ディズニーシー」、「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」が人気

| ゴールデンウィークに子どもが一番楽しみにしていること |               |       |
|----------------------------|---------------|-------|
| 1位                         | テーマパーク・遊園地に行く | 14.5% |
| 2位                         | 自宅で過ごす        | 14.4% |
| 3位                         | 親の実家で過ごす      | 13.9% |
| 4位                         | 買い物に行く        | 5.8%  |
| 5位                         | 温泉に行く         | 5.1%  |

(選択式、単一回答)

ゴールデンウィークに子どもが一番楽しみにしている予定を聞いたところ、1位は「**テーマパーク・遊園地に行く**」(14.5%)となりました。「一日家族全員楽しめるから」(小学5年生男子)、「毎年行っている家族の行事だから」(小学5年生女子)というコメントが寄せられ、家族みんなで楽しむためのイベントとして心待ちにしているようです。「テーマパーク・遊園地」の具体的な名称を聞いたところ、一番人気は「**東京ディズニーランド・ディズニーシー**」(43名)、次いで「**ユニバーサル・スタジオ・ジャパン**」(28名)となり、それぞれ東と西を代表する人気のテーマパーク・遊園地であることをあらわす結果となりました。「東京ディズニーランド・ディズニーシー」と答えた方からは、「観たいイベントがあるから」(小学1年生女子)、「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」と答えた方からは、「**ハリー・ポッターに行きたいから**」(小学5年生女子)などのコメントがありました。

2位は「**自宅で過ごす**」(14.4%)となり、その理由としては「**家族でのんびりしたいから**」(小学6年生女子)、「**パパと一緒に遊べるだけで嬉しいから**」(小学1年生女子)などのコメントが寄せられました。3位は「**親の実家で過ごす**」(13.9%)となり、その理由としては「**いつも会えないじとばばに会いたいから**」(小学5年生男子)など、久しぶりに祖父母に会えることを楽しみにしている様子のコメントが目立ちました。2位、3位のコメントからは、**家族でゆっくり過ごす、遠くに住んでいる祖父母に会うなど、長期の休暇にしかできない家族の過ごし方を、楽しみにしている様子**がうかがえます。

4位「**買い物に行く**」(5.8%)では、施設名としては「**イオンモール**」などの大型ショッピングセンターなどの回答が目立ち、理由としては「**近くてたくさん遊ぶ場所があるから**」(小学4年生女子)というコメントが見られました。

**TOPIC②: “理想”のゴールデンウィークは？子どもは「テーマパーク・遊園地」、親は「自宅で過ごす」  
「家族で一緒に過ごしたい」という、家族の絆を感じさせるコメントが多数**

(選択式、単一回答)

| ゴールデンウィークの家族の理想の過ごし方<br>(子ども) |               |       |
|-------------------------------|---------------|-------|
| 1位                            | テーマパーク・遊園地に行く | 37.1% |
| 2位                            | 自宅で過ごす        | 10.7% |
| 3位                            | 親の実家で過ごす      | 7.9%  |
| 4位                            | 温泉に行く         | 5.6%  |
| 5位                            | スポーツ観戦 ※1     | 3.3%  |

| ゴールデンウィークの家族の理想の過ごし方<br>(親) |               |       |
|-----------------------------|---------------|-------|
| 1位                          | 自宅で過ごす        | 18.3% |
| 2位                          | テーマパーク・遊園地に行く | 14.6% |
| 3位                          | 温泉に行く         | 11.0% |
| 4位                          | 親の実家で過ごす      | 8.7%  |
| 5位                          | 山に行く          | 5.2%  |

※1 サッカー、プロ野球など

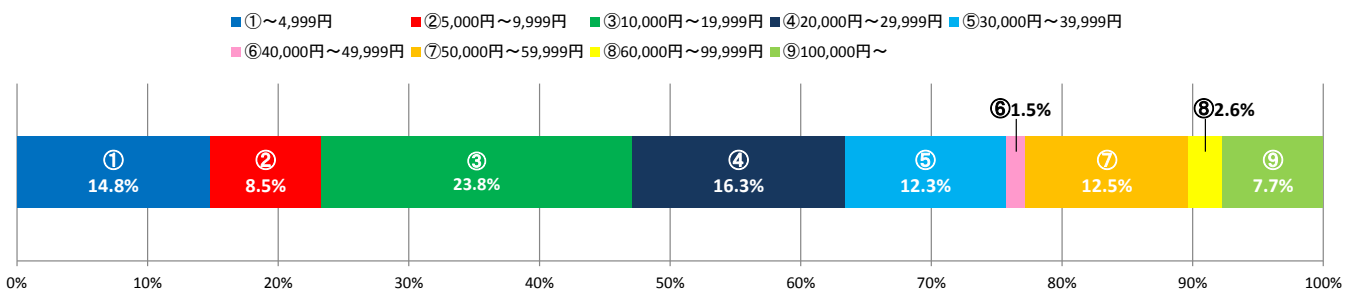
子どもと親が考える“理想”を探るため、「ゴールデンウィークの家族の理想の過ごし方」を親子に聞いたところ、**子どもの 1 位は、実際に楽しみにしている予定(TOPIC①)と同様に「テーマパーク・遊園地に行く」(37.1%)**となった一方で、**親の 1 位は「自宅で過ごす」(18.3%)**となりました。2 位は、子どもが「自宅で過ごす」(10.7%)、親が「テーマパーク・遊園地に行く」(14.6%)となり、親と子どもの 1 位と 2 位が逆転する結果となりました。

全体の調査からは、子どもの楽しみにしている実際の予定と、“理想”の過ごし方の 1 位・2 位・3 位が同じ結果となり、実際のゴールデンウィークの予定が、“理想”に近い形になっていることが読み取れます。

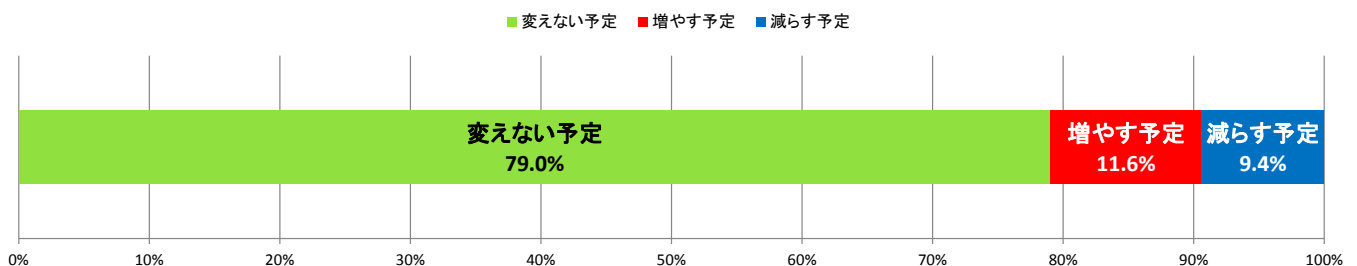
“理想”のゴールデンウィークについて、「家族で一緒に過ごせるなら場所はどこでも良い」(小学 2 年生男子)、「ママと一緒にいたらどこでもいい」(小学 2 年生女子)、「普段とても忙しいので家族とゆっくり過ごしたい」(小学 4 年生女子)という子どものコメントが寄せられ、どこで過ごすかよりも誰と過ごすかを重要視している様子が見えられます。

**TOPIC③: 2015 年のゴールデンウィークに使う予算※2 の平均金額は、32,476 円  
昨年と比べて「変えない予定」が約 8 割**

今年のゴールデンウィークに使う予算※2 の平均金額は、32,476 円となりました。全体として「10,000 円～19,999 円」と答えた方が 23.8%と一番多く、また高価格帯の「100,000 円以上」は、全体の 7.7%でした。



また、ゴールデンウィークに使う予算の昨年からの変動について、「昨年と変えない予定」という回答が 79.0%と最も多く、「昨年と比べて増やす予定」が 11.6%、「昨年と比べて減らす予定」が 9.4%となりました。



※2 外食やお出かけ、レジャー、贈り物などゴールデンウィークに特別にかかる費用

## 【バンダイからのコメント】

今回は今年のゴールデンウィークを前に、楽しみにしている実際の予定と、“理想”のゴールデンウィークの過ごし方を聞きました。

ゴールデンウィークの実際の予定と、子どもが考える“理想”の過ごし方は、かなり近い形になっていることがわかり、家族みんなで話し合い、子どもの意見を尊重しながら長期休暇の予定を立てている楽しそうな様子が垣間見えた気がします。

また、子どもからのコメントとして、「普段長い時間家族と出かけて遊べないから」、「家族でゆっくり過ごしたい」、「年に数回しか会えない祖父母に会えるのを楽しみにしている」などが寄せられ、家族が全員揃って楽しく過ごせるゴールデンウィークを子どもたちが心待ちにしている様子がうかがえ、「家族と過ごす時間の大切さ」を改めて実感しました。

### ■調査概要

- 【調査目的】小学生のゴールデンウィークに関する意識・実態を探る
- 【調査地域】全国
- 【対象者条件】小学生の子どもを持つ親 ※子どもと一緒に回答できる方
- 【調査手法】インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)
- 【実査期間】2015年3月6日(金)～3月9日(月)
- 【サンプル数】840人
- 【構成】

| (全体) | 小学<br>1年生 | 小学<br>2年生 | 小学<br>3年生 | 小学<br>4年生 | 小学<br>5年生 | 小学<br>6年生 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 男子   | 70人       | 70人       | 70人       | 70人       | 70人       | 70人       |
| 女子   | 70人       | 70人       | 70人       | 70人       | 70人       | 70人       |

※2015年4月時点での学年で回答

こどもアンケートホームページ：<http://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイホームページ：<http://www.bandai.co.jp/>